

令和2年7月31日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
[公印省略]

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

教授 1名

2. 所属

資源循環学専攻・農業生物学講座・園芸植物機能学教育研究分野

3. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

資源循環学専攻では、持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための、技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成することにより、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指しています。このため、生物の生命の仕組み、それらの生物を取り巻く環境、生物多様性についての学問を通して、生物資源の持続的利用に関する教育・研究を行っています。農業生物学講座では、農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持に役立てることを目的とする基礎から応用までの教育・研究を行っています。

今回公募する園芸植物機能学教育研究分野では、園芸植物がもつ様々な機能を、果樹や野菜の栽培の改善に役立てるための研究を行っています。特に応募を期待する野菜園芸学の分野では、環境ストレスに対する生理・生化学的反応の解明とこれらに基づいた高品質野菜の栽培法の確立を目指すための教育・研究を行っています。

4. 担当予定授業科目（分担を含む）

(学部) 園芸植物生理学, 農業化学実験, 生理学, 植物学, 園芸学, 資源循環学演習, 卒業研究 など

(大学院博士前期課程) 園芸植物機能学特論, 園芸植物機能学演習, 農業生物学演習, 農業生物学特別研究 I, 農業生物学特別研究 II, 生物資源循環学特論 など

(大学院博士後期課程) 園芸ストレス耐性学, 特別演習, 特別実験, 特別調査研究 など

5. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士後期課程の指導が可能なこと。また学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組むことが必要であり、そのため、大学において学生の就学指導に関して豊富な経験を有していることが望ましい。
 - (2) 学部および研究科の教育研究を日本語と英語で行うことができること。
 - (3) 農学・農業に関する専門的な知識および経験を有すること。
 - (4) 園芸植物機能学について優れた研究実績を有し、とくに蔬菜園芸学分野において環境ストレスに対する葉菜類および果菜類の生理・生化学的反応の解明に関する研究実績があることが望ましい。
 - (5) 当該教育研究分野の活動に積極的かつ協動的に取り組むことができ、学内の管理・運営や関連する学外活動にも講座教員と連携・協力して取り組むことができること。
 - (6) 地域創生につながる産官学共同研究の豊富な経験を有するとともに、地域圏大学としての三重大大学の目標を理解し積極的に取り組む意思を有すること。
- *男女共同参画の観点から、女性研究者の積極的な応募を望みます。

6. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（A4版、写真貼付；高等学校卒業以降の学歴、職歴、学位取得年月日と論文題目、所属学会、その他学会賞などの受賞歴、資格など）
 - (2) 業績目録（A4版、原著論文、著書、総説、その他に分け、発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと。受理された論文は含めるが、受理に至っていない投稿中の論文は含めない）。原著論文では、応募者が筆頭著者もしくは責任著者（Corresponding author）の場合には、論文番号にアスタリスク（*）を付すこと。
 - (3) 上記業績目録に係る現物もしくは別刷（コピー可）（代表的な原著論文10編以内）
 - (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧（A4版、獲得した研究資金があれば、代表・分担の別、課題名、助成機関、期間、金額を過去5年間について列記）
 - (5) 教育実績一覧
 - (6) 学会などでの活動や地域における取り組みなど、社会貢献・連携に関する実績一覧
 - (7) 大学などでの管理運営に関する実績一覧
 - (8) これまでの教育研究活動に関する概要（A4版、1000字程度）。業績目録（2）の論文番号を引用のこと。
 - (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（A4版、1000字程度）。特に、園芸植物機能学に関連する教育研究の自らの取り組みについて説明してください。
 - (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
 - (11) 応募者についての照会先
（2名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレス）
- なお、応募書類の返却はいたしません。

7. 応募期間 令和2年7月31日（金）～令和2年8月31日（月）（必着）

8. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は、自己負担となります。

9. 着任時期 令和2年11月1日以降, できるだけ早い時期

10. その他

給与は国立大学法人三重大学年俸制適用教員給与規程に基づき支給されます。

11. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻

専攻長 教授 石川 知明

(持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「資源循環学専攻教員応募書類在中」と朱書きのこと)

12. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 農業生物学講座

講座主任 教授 中島 千晴

Tel : 059-231-9638

E-mail : chiharu@bio.mie-u.ac.jp

13. 参考

農業生物学講座教員一覧 (令和2年7月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	講師	助教
分子遺伝育種学	掛田 克行	諏訪部 圭太		
資源作物学	梅崎 輝尚	長屋 祐一		
園芸植物機能学	(本公募)	名田 和義		
動物生産学	松井 宏樹	伴 智美		
草地・飼料生産学		近藤 誠		
植物医科学	中島 千晴			白水 貴
昆虫生態学		塚田 森生		
野菜ゲノム育種学 (連携大学院)	布目 司 中保 一浩	川頭 洋一 柿崎 智博		

生物資源学研究科ホームページ <http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

資源循環学専攻ホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/index.html>

農業生物学講座ホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/course01/index.html>

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/junkan/agrobio/>

以上